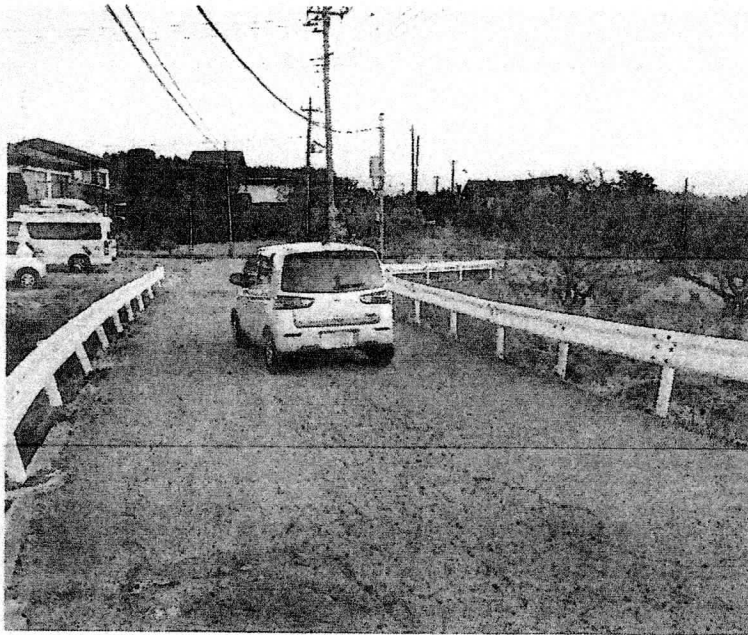


# イノシシ襲う3人重軽傷

## 小淵沢 散歩中、救助男性も

5日午前10時25分ごろ、北杜市小淵沢町の市道で、散歩をしていた近所の無職男性(67)と無職女性(72)がイノシシに襲われた。女性がかみつかれるなどして右腕骨折の重傷、男性が軽傷を負った。現場に乗用車で通り掛かり、女性を助けようとした男性会社員(33)もかみつかれて軽いが、イノシシは体長約1.5メートルで、逃走した。現場周辺は住宅が立ち並んでいて、市が防災無線で注意を呼び掛けている。



女性ら3人がイノシシに襲われた現場周辺

北杜市小淵沢町

〈釜井憂弥〉

現場は、JR小淵沢駅から約1.5キロ南側の住宅や畑が点在する地域。北杜署によると、男性が散歩中、イノシシに遭

遇。イノシシは男性の足をかんだ後、近づくを散歩していた女性に襲いかかり、手足にかみついた。助けようとした会社員の足もかんだ。車に同乗していた会社員の妻が110番した。目撃した近所の住民(80)は、「大型の犬と男性がじゃれ合っているのかと思った」

と説明。イノシシに襲われていると気づき、助けを呼びに行ったが、その間にイノシシは女性に向かったという。「女性は血を流していて、『助けて、助けて』と叫んでいた。(会社員が)車のクラクションを鳴らしてもイノシシは逃げようとしなかった」。会社員が車を降りて追い払おうとしたところ、会社員の方に突進したという。市によると、現場周辺に森



イノシシに3人が襲われた現場

## 人に見つかりパニック?

市道付近に出没したイノシシは、なぜ3人を襲ったのか。イノシシの習性や遭遇時の注意点を甲府・県鳥獣センターに取材した。

センターによると、イノシシは警戒心が強く、人がいると分かっている場所にあえて近づくとはいない。担当者は「今回は人間に見つかったことでパニック状態に陥り、次々と危害を加えたのではないかと指摘する。

イノシシは夜行性で山中に生息しているが、冬場は果物などの餌が乏

## 専門家「餌求め人里に」

しくなるため、「十分な食料を確保できないと、日中でも食べ物を探めて人里に下りてくるが増える」。今回のケースでは、空腹状態で攻撃性が高まっていた可能性があるという。

県内は山間地域が多く、イノシシが農作物を食い荒らす被害が絶たない。担当者は「万が一、遭遇した場合は、大声などを出すや興奮させてしまわないで、できるだけ落ちて着いて、その場から離れることが望ましい」と注意を呼び掛けている。(川村暎平)

## 電車にひか

### 松山の踏切

5日午前10時40分ごろ、松山市安城寺町のJR予讃線伊予和氣―三津浜間の踏切で、大阪市淀川区十八条1丁目、飲食店店員高谷亜由美さん(29)の長男で保育園児の磯谷ちゃん(5)が、松山発伊予西条行き普通電車にはねられ、搬送先の病院で死亡した。

松山西署によると、高谷さんは、磯谷ちゃんと4歳の次男と松山市内の知人宅に来ていた。事故当時、磯谷ちゃんは弟と2人で遊んでおり、弟も付近にいたが、けがはなかった。同署が詳しい状況を調べている。

JR四国によると、踏切は幅1.6メートル。遮断機と警報機が設置されているが、幅約2.6メートルの細い坂道があり、人や軽車両しか通行で

なことがあるが、イノシシに襲われたなどの目撃情報は寄せられていない。近くに住む男性(55)は「サルやシカは出没するが、イノシシはほとんど見かけない。外出する時は心配だ」と不安そうに話していた。市は防災無線で注意を呼び掛けているほか、地元の猟友会が警戒に当たっている。